

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
配当金支払 株主確定の日	3月31日
名義書換	
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) (電話お問い合わせ先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
公告掲載新聞	日本経済新聞

決算公告につきましては、当社ホームページをご覧ください。

● ホームページのご紹介

ホームページでは光学事業部門のネット特別価格販売のオンラインショップ、スポーツ事業部門のシャフトの製品情報、電子機器事業部門での新製品情報、技術情報等が掲載されております。

また、財務諸表のページには決算短信・有価証券報告書やリリース情報などの株主の皆様に必要な情報をご覧いただけますので、是非ご利用ください。



<http://www.mamiya-op.co.jp/>

Mamiya-OP Co.,Ltd.

マミヤ・オーピー株式会社
埼玉県さいたま市桜区西堀十丁目13番1号 TEL 048-858-4880

eyes

Interim Report 2005
2005.4.1—2005.9.30

マミヤ・オーピー株式会社 第64期 中間事業報告書

株主の皆様へ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、温かいご支援と格別なご高配を賜り、

厚く御礼申し上げます。

当社第64期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）が、終了いたしましたので、ここに中間事業報告書をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

マミヤ・オーピー株式会社

代表取締役社長

滝沢 三規



Contents

- 株主の皆様へ 1
- 営業の概況 2
- SPECIAL REPORT
電子機器事業本部（電子部門・特機部門）
光学機器・スポーツ各事業部門 3-4
- 中間財務諸表 5-6
- 会社概要 6

営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、原油価格の高騰、社会保障費の負担増や減税措置の見直し議論等、先行き不透明感がありましたものの、企業収益の改善を背景に民間設備投資の増加及び個人消費が持ち直すなど景気は回復の足取りを強めました。

このような状況の下で、当社グループは、お客様に感動して頂ける製品を高品質・低価格で提供できるよう改善と改良に努めてまいりましたが、デジタルカメラの発売遅れの影響及び「固定資産の減損に係る会計基準」の適用等があり、不本意な結果となりました。

この結果、当中間期の連結売上高は74億25百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益4億5百万円（前年同期比223.9%増）及び経常利益5億42百万円（前年同期は経常利益43百万円）となりました。

一方特別損失として、減損会計適用による減損損失9億75百万円、たな卸資産評価損及び廃棄損6億44百万円、固定資産売却却損2億32百万円等を計上したことにより、当中間純損失は16億59百万円（前年同期は中間純損失2億17百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

なお、当中間連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更したため、前年同期比較に当たっては、前中間連結会計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。

電子機器事業部門

パチンコホール機器業界における価格競争の激化及び昨年末の新紙幣発行に伴った特需の反動も受け、売上高は48億26百万円（前年同期比12.7%減）となりました。営業利益につきましては、コストダウン・経費削減等の内部努力により5億51百万円（前年同期比36.9%増）となりました。

光学機器事業部門

プロ写真家のデジタル一眼レフカメラの導入など、プロ写真分野においても、アナログからデジタルへの切り替えが着実に進んでおり銀塩カメラ市場は非常に厳しい状況となっております。このような状況の下、本年7月に「マミヤ645AFD-II」を発売し、好評を得ましたが、デジタルカメラ「マミヤZD」の発売遅れもあり、売上高9億53百万円（前年同期比17.3%減）、営業損失4億4百万円（前年同期は営業損失4億13百万円）となりました。

スポーツ事業部門

国内・海外ともゴルフ用品市場の低迷が続いております。国内では、4軸織物シャフト「AXIV」が徐々に市場で認知され始め、本年6月に、4軸織物を使用した「アイアンシャフトAXIV」を発売し、売上の伸長をみましたが、OEM（相手先ブランド）シャフトにつきましては国内・海外とも苦戦を強いられました。この結果、売上高16億45百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益2億58百万円（前年同期比90.7%増）となりました。

今後、電子機器事業部門におきましては、コストダウンの徹底及び開発体制の一層の強化により、競争力のある製品開発に努めます。

光学機器事業部門におきましては、高画素デジタルカメラ及び既存カメラ用のデジタルバックの発売により業績の回復を図ります。

スポーツ事業部門におきましては、ブランド強化策として、高品質の材料を使用した高付加価値商品の開発を推進するとともに、流通チャネルの多様化を進めてまいります。

電子機器事業部門

パチンコ業界におけるICカードユニット（パチンコ玉貸機）は成熟期に入り、価格競争も激化しており、今後、売上高の縮小も視野に入れ、新規商品の開発を図る中、本年6月に特

機事業本部を廃止し新たに電子機器事業部門に特機部を新設して組織の合理化を図り、より付加価値の高い製品開発と販売を目指します。

■ 電子部門

ICカードユニット（パチンコ玉貸機）の他、デジタル諸製品の開発、遊戯業界向けの新規商品の製造準備を進めております。また、セル生産方式によるコスト削減と製品の即納体制に取り組んでいます。



生産管理グループ



熟練した技術をムダなく活かすセル生産方式



調整・検査ライン

■ 特機部門

高画質CCDカメラを搭載したデジタル表面欠陥検査装置事業では、今後もその販路の拡大とともに、機種が多様化を進め、顧客のニーズに合った製品作りを進めてまいります。



Operal VMT-100
(高性能小型券売機)



デジタル表面欠陥検査装置



FPI-8100
(フラットパネル基板枚葉検査装置)



CCDラインセンサカメラ



MSPA1000 (薄膜測定器)



MSPA1100 (薄膜測定器)

光学機器事業部門

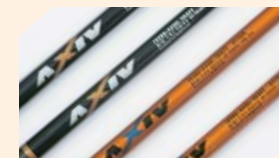
デジタルカメラは画質の最終検証段階での確認に時間を要しておりましたが、平成17年12月に発売を予定しております。一方、銀塩（フィルム）カメラ市場は、デジタル化の影響で、縮小していくものと思われ、中判カメラの利用範囲の拡大を図り、生産面ではセル生産方式の徹底的な改善を行い、製造コストの削減を図り、収益体制を目指します。



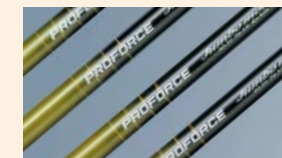
レンズ交換式デジタル一眼レフ Mamiya ZD

スポーツ事業部門

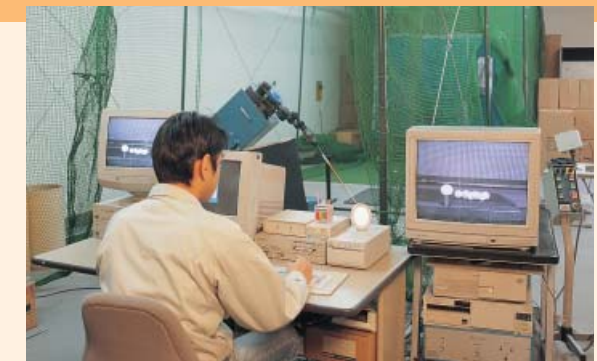
ゴルフ用品市場は国内・海外ともに、成熟産業といわれ、シャフト素材の進出企業も多く、市場競争は激化しております。新規素材探求、海外生産拠点の効率化を図り、競争力のある製品作りと販路拡大を目指します。



AXIV



PROFORCE



シャフトの性能テスト

中間財務諸表

中間連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成17年9月30日現在	平成16年9月30日現在	平成17年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	11,427	13,164	14,411
固定資産	10,242	12,071	12,282
有形固定資産	8,127	9,390	9,498
無形固定資産	76	61	67
投資その他の資産	2,038	2,619	2,716
資産合計	21,669	25,236	26,693
【負債の部】			
流動負債	7,404	9,975	10,934
固定負債	12,900	13,140	13,016
負債合計	20,304	23,116	23,950
【少数株主持分】			
少数株主持分	—	—	—
【資本の部】			
資本金	2,958	2,958	2,958
利益剰余金	△ 1,678	△ 663	△ 18
その他有価証券評価差額金	241	225	264
為替換算調整勘定	△ 135	△ 386	△ 443
自己株式	△ 22	△ 13	△ 18
資本合計	1,364	2,120	2,742
負債・少数株主持分及び資本合計	21,669	25,236	26,693

中間連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで	平成16年4月1日から平成16年9月30日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	7,425	8,340	21,472
売上総利益	2,192	2,012	5,015
営業利益	405	125	1,332
経常利益	542	43	1,131
税金等調整前中間(当期)純利益	△ 1,612	△ 174	488
中間(当期)純利益	△ 1,659	△ 217	427

中間連結剰余金計算書

単位：百万円

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで	平成16年4月1日から平成16年9月30日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
【利益剰余金の部】			
利益剰余金期首残高	△ 18	△ 446	△ 446
利益剰余金増加高	—	—	427
利益剰余金減少高	1,659	217	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	△ 1,678	△ 663	△ 18

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで	平成16年4月1日から平成16年9月30日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,902	1,056	3,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	169	84	△ 264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 394	△ 630	△ 1,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	4	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,107	515	1,827
現金及び現金同等物の期首残高	5,241	3,413	3,413
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,134	3,928	5,241

中間単体貸借対照表

単位：百万円

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成17年9月30日現在	平成16年9月30日現在	平成17年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	8,960	10,563	12,009
現金及び預金	2,671	3,603	5,066
受取手形	637	1,065	1,567
売掛金	1,224	1,651	820
たな卸資産	3,504	4,118	4,336
その他	946	145	240
貸倒引当金	△ 24	△ 21	△ 22
固定資産	10,532	13,070	12,956
有形固定資産	6,739	7,963	7,943
無形固定資産	72	56	62
投資その他の資産	3,720	5,050	4,950
資産合計	19,492	23,634	24,966
【負債の部】			
流動負債	6,977	9,462	10,381
支払手形	1,897	3,032	4,744
買掛金	798	1,432	1,001
短期借入金	3,930	4,696	4,270
賞与引当金	80	88	94
その他	270	213	269
固定負債	12,231	12,468	12,356
長期借入金	11,128	11,331	11,151
その他	1,102	1,137	1,204
負債合計	19,208	21,931	22,737
【資本の部】			
資本金	2,958	2,958	2,958
利益剰余金	△ 2,893	△ 1,449	△ 971
その他有価証券評価差額金	240	206	258
自己株式	△ 22	△ 13	△ 18
資本合計	283	1,702	2,228
負債及び資本合計	19,492	23,634	24,966

中間単体損益計算書

単位：百万円

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで	平成16年4月1日から平成16年9月30日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	5,993	6,888	18,917
売上原価	4,283	5,339	14,546
売上総利益	1,710	1,548	4,370
販売費及び一般管理費	1,382	1,467	2,932
営業利益	327	81	1,438
営業外収益	255	58	158
営業外費用	176	174	332
経常利益	407	△ 34	1,264
特別利益	23	4	73
特別損失	2,351	145	1,033
税引前中間(当期)純利益	△ 1,919	△ 175	304
法人税、住民税及び事業税	2	2	4
中間(当期)純利益	△ 1,921	△ 178	299
前期繰越損失	971	1,270	1,270
中間(当期)未処理損失	2,893	1,449	971

会社概要 (平成17年9月30日現在)

商号	マミヤ・オーピー株式会社	●事業所	●役員
本店所在地	埼玉県さいたま市桜区西堀十丁目13番1号	●本社・工場	代表取締役社長 滝 沢 三 規
設立	昭和23年2月	●東京サービスセンター	常務取締役 志 田 太利夫
資本金	29億58百万円	●大阪	常務取締役 山 本 和 孝
従業員	1,114名(当社グループ)	●物流センター	取締役 菅 原 正 巳
●主要な事業内容	電子機器事業部門：(電子部門) パチンコ台間玉貸機、OEM機器 (特機部門) 測定器、検査装置 光学機器事業部門： 中判カメラ、交換レンズ、付属品、OEM機器 スポーツ事業部門： ゴルフシャフト、遮断棒	●グループ会社	取締役 鈴 木 聡
電子機器事業部門		株式会社マミヤ(長野県佐久市)	取締役 鈴 木 登
		ユナイテッドスポーツテクノロジーズ・ホールディングスInc. (米国・デラウェア州)	取締役 峰 島 重 雄
		マミヤ・オーピー(バングラデシュ) Ltd. (バングラデシュ国・チッタゴン市)	常勤監査役 今 津 洋 一
			常勤監査役 餘 利 野 六 郎
			監査役 山 本 清 次